

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587045901	科目番号 / Subject code	05870459
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	世界を知り、日本を知る (世界の中のヨーロッパ、アジア、アフリカ) / European, Asian and African Regional Studies		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	正本 忍 / Masamoto Shinobu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	正本 忍 / Masamoto Shinobu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	正本 忍 / Masamoto Shinobu		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育・経済・薬学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masamoto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教員室 総合教育研究棟12階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2928		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日13:00-14:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ヨーロッパの文化と文明の影響力は今なお大きい。本講義では第一に、ヨーロッパ文化の基層について基礎的な知識を得る。第二に、ヨーロッパ文明が世界にもたらした影響を環境面において検討する。		
授業到達目標/Goal	ヨーロッパの文化的環境の基層について基礎的な知識を得る。その上で、ヨーロッパがどのように独自の文化を形成し、それを変容させていったか、そして、その文化と文明が世界にもたらした影響を環境面において理解し、ヨーロッパを含む世界の今後を展望することができるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	基本的に講義形式で行うが、講義のところどころにアクティヴ・ラーニングを取り入れるようにしたい。		
授業内容/Class outline/Con	<ol style="list-style-type: none"> 1 ヨーロッパとは何か 2 ヨーロッパ文化の基層1 : ケルト 3 ヨーロッパ文化の基層2 : ゲルマン 4 ヨーロッパ文化の基層3 : ギリシャ・ローマ 5 ヨーロッパ文化の基層3 : ギリシャ・ローマ 6 ヨーロッパ文化の基層4 : ユダヤ教 7 ヨーロッパ文化の基層5 : キリスト教 8 ヨーロッパ文化の基層5 : キリスト教 9 キリスト教世界における動植物のイメージ 10 人と動物のヨーロッパ史 : 動物虐待と動物裁判 11 人と森のヨーロッパ史 12 ヨーロッパの拡大と環境破壊 13 都市の台頭と環境問題 14 近世パリの生活環境 15 工業化と環境破壊 16 試験 		
キーワード/Key word	ヨーロッパ、文化、文明、環境、歴史		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	K・ボミアン『増補 ヨーロッパとは何か 分裂と統合の1500年』松村剛訳、平凡社(平凡社ライブラリー)、2002年。諸川春樹監修『西洋絵画の主題物語 神話編』美術出版社、1997年。諸川春樹監修『西洋絵画の主題物語 聖書編』美術出版社、1997年。D. A. マッケンジー『ゲルマン神話』東浦義夫・竹村恵都子訳、大修館書店、1997年。三輪福松『西洋美術の主題と物語 ギリシア神話と聖書から』朝日新聞社、1996年。西村賀子『ギリシア神話 神々と英雄に出会う』中央公論新社(中公新書)、2005年。ほか		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験(100%)を予定しているが、場合によってはレポートを課すこともある。なお、定期試験には、論述問題が含まれる。		
受講要件(履修条件)/Requirements	講義中に不必要な私語をしないこと。また、食事をしないこと。		
学生へのメッセージ/Message for students	講義で話された内容が現実の世界にどのように反映されているか、関わっているかを考えながら、受講して下さい。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587046101	科目番号 / Subject code	05870461
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	世界を知り、日本を知る (世界と日本の文化交流) / Cross Cultural Exchange between Japan and the Rest of the World		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	鈴木 英明 / Hideaki Suzuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	鈴木 英明 / Hideaki Suzuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	鈴木 英明 / Hideaki Suzuki		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育・経済・薬学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hideakisuzuki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	共用校舎2 1F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2941		
担当教員オフィスアワー/Office hours	必ず事前に連絡すること。アポイントなしの訪問は一切受け付けない。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	奴隷制廃止は19世紀初頭から20世紀前半のあいだに世界のほとんどの地域で法的に消滅する。約1世紀半という時間は、それまで奴隷制が歩んできた長大な時間と比べれば驚くべき短さである。この世界的な共通体験は、往々にして、イギリス発の現象として捉えられる傾向が強い。しかし、近年では、一定程度のイギリスの影響を「グローバル」なひとつの要因として認めながらも、他方で「ローカル」な諸要因にも注目が集められつつある。この講義では、奴隷制廃止という世界的な共通体験に関連する日本の経験をこれら一連の共通体験の中に組み込むことを目的とする。		
授業到達目標/Goal	世界史的な視野で物事を考える方法の獲得。つまり、ある時間幅における水平(空間)的な展望とある空間幅における垂直(時間)的な展望を掛け合わせて物事を考察できるようにすること。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義を主体とする。ただし、授業中の質疑は随時受け付ける。リアクションペーパーを毎回、課し、そのフィードバックを随時行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	世界史、グローバル化、奴隷、奴隷制廃止		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	講義関連の資料はすべてLACSで配布する。また、参考書などは授業中に適宜紹介する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末レポート(40%)、出席(30%)、リアクションペーパー等、授業への積極的な参加(30%)		
学生へのメッセージ/Message for students	特に予備知識は必要ありません。積極的な授業参加を期待します。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	奴隷制廃止という世界的共通体験と私たち		
第2回	奴隷とは何か?		
第3回	イギリスにおける奴隷制廃止の歩み		
第4回	アメリカにおける奴隷制廃止の歩み		
第5回	フランスにおける奴隷制廃止の歩み		
第6回	ハイチ革命とその余波		
第7回	ペルシア湾における奴隷制廃止の歩み		
第8回	エチオピア、タイ、トルコにおける奴隷制廃止の歩み		
第9回	奴隷制廃止後の世界: 元奴隷たち		
第10回	奴隷制廃止後の世界: 契約労働制		
第11回	日本における「奴隷制廃止」1: 芸娼妓廃止例		
第12回	日本における「奴隷制廃止」2: 奄美のヤンチュ		
第13回	ブラジルにおける奴隷制廃止		
第14回	日系移民の歴史		
第15回	まとめ		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587046301	科目番号 / Subject code	05870463
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	世界を知り、日本を知る (芸術で見る世界と日本) / The World as Seen through the Arts		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	王 維 / Wan Uei		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	王 維 / Wan Uei		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	王 維 / Wan Uei		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育・経済・薬学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	wangw@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	多文化社会学部 1号館 1階王研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2913		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時 (ただし、事前にメールで連絡すること。連絡先: wangw@nagasaki-u.ac.jp)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	地球に暮らすあらゆる民族は、異なる自然環境、言語や宗教、或いは歴史や社会などの環境に対応し、周辺の民族と交流しながら、その社会でのアイデンティティに支えられた固有の祭礼、芸能や音楽をもってきた。民族音楽学や世界音楽などの見方から、東アジア地域を中心とする多彩な祭礼、芸能や音楽を通して様々な世界を見る視点を学ぶ。		
授業到達目標 / Goal	芸術 (祭礼・芸能など) で見る世界と日本というテーマに関する基礎的知識を習得する。 グローバルの視点から、多様な世界と日本を理解する。 異なる音楽文化を通して、広い視野から世界を見る能力を養う		
授業方法 (学習指導法) / Method	1. 授業は主に講義形式で行うが、テーマに関連する写真の資料やビデオなどの視覚教材も利用する。 2. 常時に感想、質問、疑問などを小レポートにまとめてもらい、それにもとに質疑応答やテーマに関する議論をしたい。受講生には自分なりの問題発見、問題調べなど学習意欲を持って望むことが求められる。		
授業内容 / Class outline / Con	激動する国際社会のなかで民族という言葉がキーワードの一つとなり、諸民族の音楽文化もより広く関心をもたれるようになってきた。今、グローバル化のなか、社会全体に国際理解が重要視されているが、世界の音楽文化も異文化理解の手がかりとしてその重要性が増していると考えられる。本授業は民族音楽学及びそれに関連する理論を総観したうえ、音楽、文化、社会そして民族の視点、東アジア地域を中心に諸民族の音楽文化の事例を通して、民族にとって音楽とは何か、諸民族がつつちかてき「知」の体系に音楽がどんな役割をはたしているのか、なぜ音楽文化が異文化交流や異文化理解の重要な手がかりになるのか? などについて検討し、音楽の側面から世界を理解する視点を学ぶ。		
キーワード / Key word	音楽、異文化交流、芸能、アイデンティティ、民族 (エスニック)		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	徳丸吉彦 『民族音楽学』放送大学教育振興会、1991年。『民族音楽理論』1996年 藤井知昭他編 『民族音楽概論』東京書籍、1992年 柘植元一・塚田健一編 『はじめての世界音楽』音楽之友社、1999年 山口修 『応用音楽学』放送大学教育振興会、2000年 その他、随時紹介		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	試験及び課題レポートの得点統計に出席率を掛けたもので判定する。試験50% レポート50%。欠席した授業内容にかかるレポートの提出は受け付けない。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	出席と予習・復習が不可欠。授業外学習に充てるべき時間は週平均2時間以上とする。実際の進展状況に応じて授業計画を変更する場合がありますので注意されたい。		
学生へのメッセージ / Message for students	「すべての民は音楽的思考を行う」という言葉を聞いたことがありますか。この授業を通して世界を見るもう一つの見方を考えましょう		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	序説 東アジアの文化圏
第2回	理論編(1)音楽を見る視点：音楽学～比較音楽学～民族音楽学 などについて
第3回	(2) 諸民族の音楽様式
第4回	(3) 楽器のハードウェアとソフトウェア
第5回	(4) 伝承と記述(楽譜)について
第6回	地域編：比較の視点から (1) 中国・漢民族 歴史の概観、劇音楽
第7回	中国・漢民族 歌舞音楽と曲芸音楽(語り音楽)
第8回	中国・少数民族－多彩な芸能と音楽
第9回	(2) 日本の伝統芸能：歌舞伎と芝居小屋 中国の劇音楽と比較しながら...
第10回	(3) 朝鮮半島音楽の語り音楽
第11回	(4) モンゴル音楽の諸相
第12回	(5) 文化の伝播・受容・変容：西アジア起源とする楽器 (中国と日本)
第13回	移動・文化交流による音楽文化のグローバル化 (1) 世界に舞う獅子舞・龍踊り
第14回	(2) 世界に響く和太鼓
第15回	まとめ：
第16回	試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587046501	科目番号 / Subject code	05870465
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	世界を知り、日本を知る (アジアにおける人の移動と日本) / Migration in Asia and Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	南 誠 / Minami Makoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	南 誠 / Minami Makoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	南 誠 / Minami Makoto		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育・経済・薬学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	lisk-minami@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	総合教育研究棟3F		
担当教員TEL / Tel	819-2926		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にメール(lisk-minami@nagasaki-u.ac.jp)連絡		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	人の移動が活発に行われる今日のグローバル社会を生きる誰もが、人の移動によって生じる諸問題に直面する。この授業ではアジアという地域に焦点を定めて、人の移動にかかわる諸現象(移動の歴史、移動をもたらす諸要因や、人の移動による文化交流と新たな社会空間の生成など)を講義することで、アジアと日本の多文化状況や、異なる言語と文化を持つ人々との共生と協働について理解を深めます。		
授業到達目標 / Goal	アジアにおける人の移動や、日本との関係に関する理解を深めつつ、人の移動によって惹起した具体的な諸現象や、日本国内で生活する外国住民の歴史と現状、および、日本の「多文化」化社会の実態を自分の言葉で説明できるようになる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	基本的には、パワーポイントを用いた講義形式による。		
授業内容 / Class outline/Con			
キーワード / Key word	移民・難民 エスニシティ 社会的包摂と排除 文化交流 多文化共生		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書はとくに指定しない。授業のなかで適宜に課題文献を紹介する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験(70%)、授業および討論への参加度(30%)		
学生へのメッセージ / Message for students	人の移動を考えることは、異文化交流のための知識を養うことでもあります。しかしそれ以上に、日本に住む外国住民の問題を他人事ではなく、自分も生活する日本の多文化化社会の課題として考えるようになることが大事です。本講義の聴講を通して、是非ともそうした感性を培ってください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	「人の移動」の概説		
第2回	日本人移民の略史		
第3回	日本をめぐる人の移動(戦前編)		
第4回	日本をめぐる人の移動(戦後編)		
第5回	日本人移動の影響 文化編(東アジアの場合)		
第6回	日本人移動の影響 歴史・記憶編(東アジアの場合)		
第7回	日本人移動(本国帰還)の影響(日本の場合)		
第8回	日本を生きる外国住民(在日コリアン)		
第9回	日本を生きる外国住民(中国系)		
第10回	日本を生きる外国住民(日系?)		
第11回	日本を生きる外国住民(難民と無国籍者)		
第12回	日本を生きる外国住民(その他)		
第13回	日本型多文化共生社会の試み		
第14回	地域社会と移民コミュニティ		
第15回	総括		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587046701	科目番号 / Subject code	05870467
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	世界を知り、日本を知る (宗教から見た日本) / Religion in Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育・経済・薬学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takizawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	多文化1号館2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2916		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本の宗教文化は、その風土を反映し多様性と混合性に富む。この授業では、個別の組織宗教だけではなく、民間信仰やスピリチュアリティに至るまでのさまざまな事例をとりあげ、「日本文化」と呼ばれるものを相対化しつつ現代日本社会の特質に迫る。		
授業到達目標/Goal	(1) 宗教研究の基本的な考え方を理解し、説明できるようになる。 (2) 「宗教」に焦点を当てることで「日本文化」を相対化して論じられるようになる。 (3) 現代日本社会の特定の宗教的側面を捉え、それを自分なりの視点で分析できるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	各回の授業内容に示された特定のテーマを採り上げ講義形式の授業を行う。また、授業の終了時には、講義内容に関するアンケートを実施する。その他、状況に応じて事前の課題講読、授業中の質疑討論を行う。		
授業内容/Class outline/Con	本授業では、日本の宗教文化を主題に、宗教研究の基本的な考え方を学び (第1回~第5回)、それに基づき各回のトピックに合わせた具体的な事例を分析する (第6回~第15回)。特に、宗教研究の概論では、われわれが漠然と理解している「宗教」や「日本文化」といったものが、歴史的にどのように対象化されてきたのかということを理解し、その上で「宗教」に焦点を当てることで「文化」や「社会」の見え方がどのように変わってくるかを学習する。各回のトピックにもとづく各論では、生老病死など人間にとって身近な主題を、概論で学んだ宗教研究の視座を通して分析する。それによって、現代日本社会の状況を相対化して捉える視座を養う。		
キーワード/Key word	宗教文化、風土、組織宗教、民間信仰、現代社会		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。参考文献については授業中に適宜指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への積極的参加 (授業ごとのアンケート提出など) 50%、学期末試験50%		
学生へのメッセージ/Message for students	本授業で論じる視点を通して、身近な問題を見つめなおすきっかけにいただければと思います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	はじめに		
第2回	宗教とは何か		
第3回	日本人と宗教		
第4回	民間信仰論		
第5回	日本文化起源論		
第6回	生業と自然		
第7回	神話と儀礼		
第8回	霊魂と世界		
第9回	死者との関わり		
第10回	病気と身体		
第11回	高齢化と宗教		

第12回	福祉と宗教
第13回	災害と宗教
第14回	現代社会と宗教
第15回	まとめ
第16回	試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587046901	科目番号 / Subject code	05870469
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	世界を知り、日本を知る (日本のことばと文芸) / Japanese Language and Literature		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池田 幸恵 / ikeda Yukie		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	池田 幸恵 / ikeda Yukie		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	池田 幸恵 / ikeda Yukie		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育・経済・薬学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yu-ikeda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	総合教育研究棟12階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2931		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日14:30-16:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	さまざまな時代の言語資料を取り上げ、そこに見られる日本語の諸問題を考察することを通して、日本語・日本文化に対する理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	日本語・日本文化の特徴について説明することができる。 文学作品をさまざまな視点から読み、それを自分の言葉で伝えることができる。 日本語・日本文化の歴史的な変遷について理解し、それを現在の身近な問題と結びつけて考えることができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	毎回、次回の授業に関する課題を出し、講義中に解説を行う。		
授業内容 / Class outline/Con			
キーワード / Key word	日本語 日本文学 漢字		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントを配布する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	毎回の課題に対する準備内容50%、定期試験50%		
学生へのメッセージ / Message for students	高校の古典では学んだことのない文献資料が日本には数多く残されています。それらにふれることにより、日本語・日本文化に対する理解を深めましょう。受講に際しては、日本語の古典文法や現代語文法について高校程度の知識があることが望ましいです。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	日本の文字(1)		
第3回	日本の文字(2)		
第4回	日本の文字(3)		
第5回	奈良時代の言語資料(1)		
第6回	奈良時代の言語資料(2)		
第7回	平安時代の言語資料(1)		
第8回	平安時代の言語資料(2)		
第9回	平安時代の言語資料(3)		
第10回	平安時代の言語資料(4)		
第11回	院政・鎌倉時代の言語資料(1)		
第12回	院政・鎌倉時代の言語資料(2)		
第13回	室町時代の言語資料(1)		
第14回	江戸時代の言語資料(2)		
第15回	江戸時代の言語資料		
第16回	テスト		